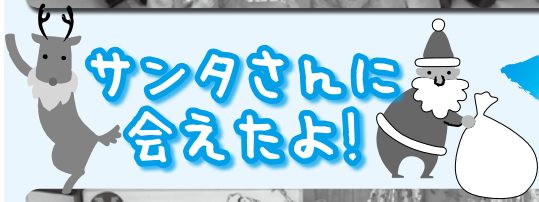




ただみこども教室 (12月17日)



サンタさんに
会えたよ!

クリスマス会



めいわこども教室 (12月18日)



あさひこども教室 (12月20日)

正 しめ飾りづくり講座 月飾りを自分の手で作ろう

只見地区センターで、12月9日に「しめ飾りづくり講座」が開かれ、12名が参加しました。この講座は、只見町の素晴らしい人材や材料に学び地域を再発見しようと年間を通して行われている事業の一環で、今回は年末歳時記講座として行われました。春に地元で採取し乾燥させておいた「イワシバ」を使い、参加者は左廻りといわれる編み方で丁寧に時間をかけ思い思いに正月飾りを作り上げ、完成した飾りを手に笑顔を見せていました。



▲できあがった正月飾りを手にする参加者

只 ブナセンター「カゴ編み教室」 見の伝統技術を学び楽しく体験



▲できあがったカゴや材料を手に笑顔の参加者

12月2日に、ブナと川のミュージアムで「カゴ編み教室」が開かれ、町内外から19名が参加しました。講師は、昨年発足した「またたび屋」の方々が担当、籐（トウ）をはじめアケビやブドウのツル、クルミの樹皮などを使いカゴを編む班と、マタタビを割いて材料を作る班に分かれ作業を行いました。参加者は、アドバイスを受けながら真剣に取り組み、終了後には「楽しかったので機会があればまた参加したい」と貴重な体験をした感想を話していました。

仮 民生児童委員会ボランティア活動 設住宅の入居者に温かなプレゼント

12月18日に、只見町民生児童委員会（飯塚孝子会長）の方々10名が、一昨年の新潟・福島豪雨で被災し仮設住宅に入居されている6名（4世帯）の皆さんに、同委員の方がつくられた手打ちそばと、おつゆや、お惣菜などをお昼に配りました。その中には「ささやかですが、手打ちそばを食べていただき、心温まってください」というメッセージも入っていて、それを読まれた入居者は「涙が出る思いです。皆さんに感謝します」と笑みを浮かべ、温かい心のこもったプレゼントを受け取っていました。



▲入居者の渡部孝さん（後列中央）と民生児童委員の皆さん

地 熊倉地区そば打ち教室 元産そば粉で打ち方学び試食会

熊倉そば打ち愛好会（目黒義行会長）では、12月8日に地区集会所で「そば打ち教室」を開き、地元の方が参加しました。午前中は目黒会長の指導により、地元産のそば粉を使い、実際に体験しながら伝統食のそばを上手に打つ方法を学ぶ講習会が行われ、夕方からは目黒会長はじめ、講習会に参加された方々が打ったそばの試食会も行われました。この教室は今回で3回目、恒例の地区行事として定着し地元の皆さんの触れ合いの場となっています。



▲目黒義行会長（左）の指導を受ける参加者

シ 只見スキー場オープン式 シーズン中の安全と細やかなサービス誓う



▲安全な運営を願いテープカットする目黒町長（左から3人目）ら関係者

只見スキー場のオープン式が12月21日に只見スキー場のロッジで行われ、関係者18名が出席しました。(株)会津ただみ振興公社代表取締役の目黒町長が「皆さんに喜ばれるようスタッフ一丸となり頑張ります」とあいさつし、目黒長一郎町体育協会長が祝辞を述べました。その後、安全を祈願し齋藤邦夫町議会議長の音頭で献杯が行われ、目黒町長ら関係者のテープカットで、オープンしました。この日の積雪は140センチで22日からは全面滑走が可能となりました。皆さんご利用ください。

料 いきいき・ふれあい教室 理で高血圧予防、体操で肥満予防



▲バランス体操に挑戦する参加者

黒谷入地区で60歳程度の方を対象に12月14日、いきいき・ふれあい教室が開かれ15名が参加しました。午前中は町食生活改善推進員の方を講師に高血圧予防になる減塩料理のオムレツなどを作り試食したり、町保健福祉課職員の生活習慣病などに関する講義を受けました。午後もし引き続き講義を受けながら、肥満予防や身体活動を活発にすることを目的としたバランス体操を行いました。参加者は「体を動かすと気持ちがいい。温まる」などと満足そうに話しました。